

きの犬をステータスシンボルとして欲しがる。
 珍種の猫も今やファッショナブルな存在だ。
 しかし飼いの事情が変わつたり、飼うのに
 飽きたり、飼うのが面倒になつたりすると、
 彼等はいと簡単に飼うのを放棄する。彼等は
 子猫になつてペットを、恐ろしい獣の待つ保
 健所へ送つたり、道ばたに、山、河原などに捨
 ててけりとする。どの方法にせよ、ペット
 達にとっては悲惨な結末が待つことにちがひな
 い。そしてこのことこそ私にとっては最大の関心
 事項なのだ。

私の自由になる時間は、危機に瀕している
 動物を助けることに向かう。さて、何故
 動物なのか？ 答は簡単だ。動物は人間の言葉
 をしゃべれないので、悲惨な状況に陥つたり、
 手荒く扱われかねないとしても、及論すべきなから
 ない。それ故に黙つて苦しみには堪えるしか
 ないからだ。さうにはまた何を考へてゐるか
 を思ひや、人も変わつて少いからだ。

人間は動物を人間より一般低く存在と見做